

ベトナムの政治体制について

キャピタル アセットマネジメントはここ数年のベトナムの政治状況を振り返ってレポートします。

ベトナムのグエン・フー・チョン共産党書記長が7月19日に死去しました。

- 外交、汚職の撲滅、国家の発展における業績
- 国際社会で主要各国との関係を強化
- 安定した政治システム、企業支援策による外国直接投資(FDI)の拡大

集団指導体制のもと、チョン書記長の功績が評価されている。

■ 全方位外交・汚職撲滅など共産党の革新と国家の発展における功績

ベトナムの最高指導者であるグエン・フー・チョン書記長が7月19日老衰と病気のため首都ハノイの病院で亡くなった。享年80歳。チョン氏は2年以上の国家主席職、5年以上の国会議長職を経て、2011年にベトナムの最高指導者である共産党書記長に就任し、党の規約を超えて異例となる3期、14年目の書記長職を務めた。各種報道では、書記長の功績として、党の構築、腐敗防止、そして国際舞台でのベトナムの地位向上に果たした役割が強調されている。

チョン氏は、ベトナムの現代化と発展を導く刷新理論を中核とし、全民族の大団結を促すというもので、国家の発展のために多大な貢献を果たしてきた。この理論はベトナムの伝統的価値観と現代の要請とを融合させ、国の進路を定める上で重要な役割を担ってきたものである。チョン氏は強力な指導力を持ち、ベトナム共産党と建国の父ホーチミン氏の思想を堅持しながら国家の発展へと導き、チョン氏の指導の下、ベトナムは多くの秀でた成果を達成してきた。特に外交政策において大きな足跡を残してきたと評価されている。

外交政策においては、国と民族の伝統を重んじる強固さ、独立性、自主性を根と幹に保ちながら、柔軟な竹の枝のように全方位外交を主導した。国際社会の分断的な状況が続きながらも日本、米国、中国、ロシアなど各国との関係強化にベトナムが取り組んできたことがその具体例として挙げられよう。

免責事項

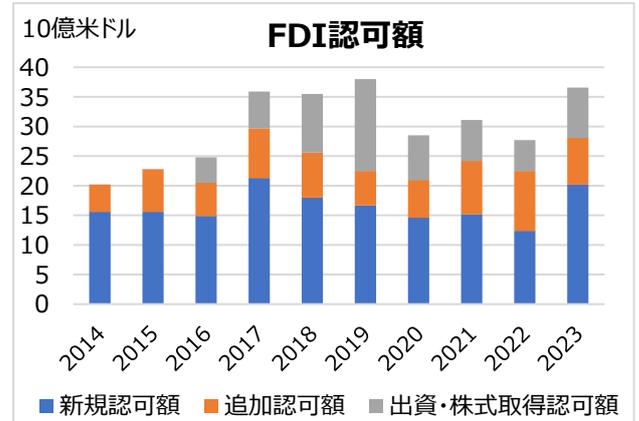
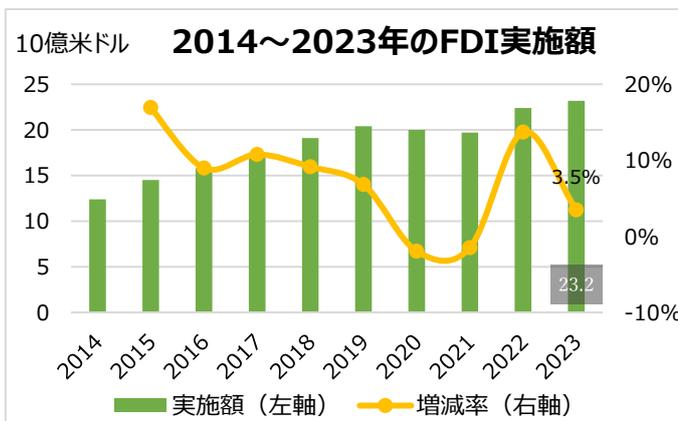
当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAMが運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。



画像：2011年1月 書記長への就任（画像の出所はベトナムのオンラインニュース）

晩年に至るまで、チョン氏は党と国家の革新事業に取り組み、ベトナムの潜在力や国際的地位・威信の向上に尽力した。近年、内政においては、深刻な社会問題となっていた汚職の撲滅に向けて、党や政府の幹部などに対する摘発や処分を進めたことで、チョン氏は党と国民からの厚い信頼・尊敬を得てきた。党と国家の革命大義における顕著な貢献を讃えて、共産党政治局はベトナム社会主義共和国の最高栄誉勲章であるサオバン(金星)勲章を授与することを7月18日に決定した。

ベトナムでは多くの共産党高官が腐敗への関与および部下の腐敗に責任を負う形で辞任しながらも、依然として安定した政治システムを維持し、FDIを引き付けている。世界のグローバル企業が中国からアセアン諸国やインドに生産拠点を移転する、いわゆるチャイナ・プラスワンと呼ばれる経営戦略を進めてきたことも背景だが、チョン氏による外交政策、透明で自由な組織改革、成果の共有を企図した国内外の企業への支援策などの賜物といえる。国別では、シンガポール、日本、香港、中国など、主要国が投資主体の所在国で上位を占めている。また、統計局が発表したデータによれば、今年の上半期のベトナムにおけるFDI実施額は約108.4億米ドルに達し、前年同期比で8.2%増加した。これは過去5年間の上半期におけるFDI実施額のうちで最高額である。



出所：ベトナム計画投資省(MPI)データに基づきキャピタル アセットマネジメントが作成

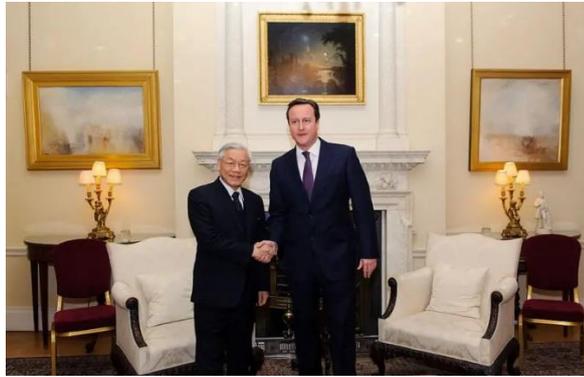
免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社 (CAM) が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。



■ チョン氏の軌跡

2013年1月：チョン氏は英国を訪れた。これはベトナム共産党書記長による英国への初の公式訪問であり、ベトナムと英国の外交関係樹立40周年および戦略的パートナーシップ関係3周年を記念するものであった。



画像：2013年1月 キャメロン首相(当時)が、ベトナムのチョン書記長を迎えた(画像の出所はBBC)

2015年7月：米国のオバマ大統領(当時)が、慣例を破り、ホワイトハウスの大統領執務室(オーバルオフィス)にてベトナム共産党の書記長を迎えた。



画像：2015年7月 オバマ大統領(当時)がチョン書記長をホワイトハウスに招いた(画像の出所はBBC)

2015年9月：ベトナムと日本が2014年に両国の外交関係を「アジアの平和と繁栄のための戦略的パートナーシップ」に格上げした後、チョン氏は共産党書記長として初めて日本を訪問した。



画像：2015年9月 安倍首相(当時)とチョン書記長(画像の出所はロイター)

免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社(CAM)が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAMが運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。



2019年2月：チョン書記長兼国家主席(当時)は、米国と北朝鮮による首脳会談のホストを務めた。トランプ大統領(当時)が、北朝鮮の指導者である金正恩氏との首脳会談に出席するためにベトナムを訪問した。



画像：2019年2月 米国のトランプ大統領(当時)とチョン書記長(画像の出所はベトナムのオンラインニュース)

2023年9月：バイデン米国大統領はベトナムを訪れ、両国関係の緊密化を実現した。米国はアジア地域でのプレゼンスを高めようとしている。バイデン氏はチョン氏とハノイで会談し、「ベトナムと米国はこの重要な時期に、極めて重要なパートナーである。これは心底思うから言っているのであり、儀礼ではない」と述べた。ベトナムと米国は両国の外交関係を「包括的戦略的パートナーシップ」に正式に格上げした。ベトナムの外交関係においてこれは中国、インドと並び最上位に位置するものである。



画像：2023年9月 チョン書記長とアメリカのバイデン大統領によるハノイでの会談(画像の出所は政府メディア)

免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

2023年12月：中国の習近平国家主席は、ベトナムを公式訪問した。ベトナムでの滞在時間は約30時間で、充実した日程が組まれていた。この訪問の際、両国は「ベトナム - 中国の未来を共有する共同体」の構築で合意した。



画像：2023年12月 中国の習近平国家主席とお茶を楽しむ場面(画像の出所は政府メディア)

2024年3月：共産党中央委員会は、ポー・ヴァン・トゥオン国家主席の辞任の申し出を承認した。同氏は党最高指導部である政治局員、中央委員、国防安全保障評議会議長も辞した。3月初旬にビンフック省、ビンロン省、クアンガイ省でいくつかの地方行政官が収賄の疑いで逮捕され、その責任をとったためだといわれている。

2024年4月：ベトナム政府が緊急会議を開き、国会議長ヴォン・デイン・フエ氏の要望により、党中央政治局員、第13期中央委員、第15期国会議長の職を辞任することに同意した。内務省は、48歳の国会事務局副責任者、国会議長補佐に就いているファム・タイ・ハー氏が逮捕されたと発表した。ハー氏は職権を濫用し、他者が利益を得るために影響を与えたという容疑で逮捕された。フエ氏はハー氏の上司であり、その責任を取って辞任したと考えられている。

2024年5月：新しい国家主席、国会議長および党政治局員が発表された。新国家主席に選出されたトー・ラム氏(67歳)は、北部のフンイエン省の出身である。トー・ラム氏はチョン書記長がトップを務める中央反腐敗・不正防止指導委員会の副委員長を務めている。同氏は腐敗防止に積極的に取り組んでおり、経済活動の透明性を高め、共産党を浄化してきた。その結果、国際非政府組織のトランスパレンシー・インターナショナルが発表した腐敗認識指数から見るとベトナムのランキングは180か国・地域中、2016年の113位から2023年の83位へと透明性を向上させた。

免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社(CAM)が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAMが運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。



共産党の主要指導者



画像の出所：ベトナム政府メディア

新しい国家主席と国会議長および党政治局員

名前	役職	生年	出身地	学歴
チャン・タイン・マン	国会議長	1962	南部	政治理論学士、経済学博士
トー・ラム	国家主席	1957	北部	法学博士
レ・ミン・フン	党中央委員会委員長	1970	北中部	公共政策学修士（旧埼玉大学大学院政策科学研究科＝現政策研究大学院大学）
ルオン・クオン	事務局常任委員	1957	東北部	党・政権建設学士

出所：ベトナム共産党資料に基づきキャピタル アセットマネジメントが作成

写真左から：ルオン・クオン事務局常任委員、ファム・ミン・チン首相、グエン・フー・チョン書記長、トー・ラム国家主席、チャン・タイン・マン国会議長、レ・ミン・フン党中央委員会委員長

2024年6月：ベトナム共産党中央委員会の本部にて、チョン氏は、ロシアのプーチン大統領と会談した。この会談は、プーチン大統領によるベトナム公式訪問の一環として行われたもので、プーチン氏のベトナム訪問はこれで5回目となった。今回の訪問は、ベトナムとロシア間の友好関係の基本原則に関する条約が署名されてから30周年（1994年6月16日～2024年6月16日）、外交関係樹立75周年（1950年1月30日～2025年1月30日）、およびユーラシア経済連合とベトナム間の自由貿易協定締結10周年（2025年5月）という節目を迎えるに際しての象徴的で重要なイベントであった。



画像：2024年6月 ロシアのプーチン大統領との会談(画像の出所は政府メディア)

■ グエン・フー・チョン氏の言葉

チョン氏は、その生涯を通じて、党と国民の革命事業に鉄の精神と意志で献身し、困難や障害に屈することなく貢献した。

免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。



チョン氏の有名な発言：

「人生は一度きりだから、意味のある生き方をしなければならない。卑劣で卑しい行為や恥知らずの行為を後悔することなく生きるために、お金をたくさん持っていて、死んだときに持っていけるわけではない。名誉こそが最も神聖で高貴なものである。」

「人の幸せは、ただお金や物を多く持つことや美味しいものを食べたり、綺麗な服を着たりすることだけにあるのではない。心の豊かさ、愛情と慈悲の中で生きることや正義と公平の社会で生きることによって幸せがある。」

■ 混乱の懸念は少ない見通し

チョン氏の逝去はベトナムにとって多大な損失といえるが、序列 2 位のトー・ラム国家主席が代行を務めることが発表されており、ベトナムの党と政府は集団指導体制と周到な準備(チョン氏の健康不安は数か月前から分かっていた)をもって、同国の発展に引き続き取り組んでいくこととなる。その意味で、国内外の外交政策や党内部混乱(権力闘争など)への懸念は少ないと当社では考えている。

■ ベトナムの「四柱」、集団指導体制による運営

ベトナムは、1986 年のドイモイ政策により、経済改革を導入し、経済発展を遂げてきた。国家の最高職位は、「四柱」といわれる共産党書記長、国家主席、首相、国会議長で、4 人の首脳による集団指導体制によって政権運営が行われていることから、今後もベトナムの成長への期待は強いものがあると考えられる。



2023 年 1 月 18 日：国家主席 辞任 グエン・スアン・フック
 2023 年 3 月 2 日：国家主席 就任 ボー・ヴァン・トゥオン
 2024 年 3 月 21 日：国家主席 辞任 ボー・ヴァン・トゥオン
 2024 年 5 月 2 日：国会議長 辞任 ヴォン・ティン・フエ
 2024 年 5 月 20 日：国会議長 就任 チャン・タイン・マン
 2024 年 5 月 22 日：国家主席 就任 トー・ラム
 監査委員会は 2023 年に 24,162 党員に対して懲戒処分を実施しました。

以上

免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社 (CAM) が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。